

# どんなに“秘密”で脅しても 人の心は縛れない!



No.203号  
2014年2月7日  
発行人 宮崎 優子  
事務局 日高 礼子  
☎097-544-8892  
FAX097-544-8892

## 平和をめざす国が戦争する国へ

とにかくややこしい名前の法律や用語が並びます。

昨年暮れの国会では『国家安全保障会議（日本版NSC）設置法』や『特定秘密保護法』といった、知らないうちに市民生活が脅かされかねない法律が理不尽なやり方で次々強行採決されました。そして国会終了後の12月17日に閣議決定された『国家安全保障戦略（NSS）』と『新防衛大綱』・『中期防衛力整備計画』では、自衛隊に米国の海兵隊的機能（水陸機動団）をつくることや、今後5年間で24兆円もの防衛費を使ってオスプレイ17機・FX35戦闘機28機・水陸両用車52両・無人偵察機3機などを導入すること、そして防衛装備や技術を強化し移転（輸出）できるようにすることなどが盛り込まれています。国会での議論もないまま、こむずかしい用語のら列でみんなが困惑し、拒否反応を起こしているうちにこれまで70年近くなんとか締められてきた“箍”がいとも簡単にゆるめられ、日本は急激に軍事国家に逆戻りしつつあります。

## 愛国心から徴兵へ？

また『国家安全保障戦略』では、国民に対して「国家安全保障を身近な問題としてとらえ、その重要性や複雑性を深く認識することが不可欠」として「我が国と郷土を愛する心を養う」ことを求めています。これは徴兵制への地ならしなのではないかと不安になります。

そして今年1月の通常国会施政方針演説。ついに安倍首相は“集団的自衛権”を明言しました。どんなに美辞麗句を並べても、武力を頼りにする限り、戦争や兵器で利益を得ようとする人たちの腹黒い思惑に政治は左右されてしまうでしょう。

しきりに女性を持ち上げ、女性を登用（利用）している安倍首相の腹黒い思惑にも嫌気がさします。それから変なNHK会長にも。

## 情報保全諮問会議座長・渡辺恒雄さん

2010年の赤とんぼ意見広告では、読売新聞に2ヶ所を削除させられました。1つは「上官の命令で中国人捕虜を銃殺した」という旧日本兵の証言。もう1つはアフリカのジブチ共和国に自衛隊が基地を建設するという海外メディアの報道についてでした。

「言論の自由」を言うのなら、何故意見広告の内容を削除したかについても是非答えていただきたいものです。前述の旧日本兵とは、赤とんぼの会員でもあった故Hさんのことです。彼はずっと自分がしたことを悔やみつつ、「戦争は絶対にいけない」と訴え続けておられました。平和を願う市民の声を封殺し、読売新聞購読者の皆さんに史実を秘密にしたことに対して読売新聞会長・主筆であるあなたはどう考えておられるのでしょうか…。  
(日高礼子)

## 署名への御協力ありがとうございました

昨年11月にお願いした「集団的自衛権行使に反対する署名」は、1,218筆も集まり、カンパも7千円いただき、東京に送りました。

これからも署名は続きます。まだ署名をしていない方、事務局（大分市豊饒4組）まで送ってくださって結構です。署名用紙が必要な場合は御連絡くだされば郵送します。

連絡は、090-1166-4218（日高）まで。

  
**春の総会**

**4月13日(日) 13:30～**  
**ライフパル2F 会議室**  
大分市中央町5番街(☎097-573-3770)

今年の意見広告について話し合います。お待ちしております。



# お便り紹介

今夏（2013年）、沖縄県平和祈念資料館が募った「平和の詩」で、与那国の小学1年生・安里くんの自作の詩をラジオで聴いて、引き込まれてしまいました。

「へいわってなにか。ぼくはかんがえたよ。おともだちとなかよし。かぞくが、げんき…」。

常にこの詩をかみしめています。「恒久平和」を確立しなす。母の介護のため、十分な活動はできませんでしたが、送ります。もっと、がんばりたいと思います。『へいわってすてきだね』という安里くんの心を大切に、少しでも多くの人たちとおしゃべりできたら、と思います。

（竹田市 N・Nさん）

集団的自衛権を持つよりも、近隣諸国と仲良くすることが先だと思えます。その為には相手の嫌がる事をしない事が肝要と存じます。

安倍首相が口にする「集団

的自衛権」が「集団的攻撃権」と聞こえてなりません。

野党劣勢の国会で、やりたい放題の首相の暴走は、近い将来、我々国民に大きな苦難国難をもたらすのではないかと危惧しています。

以上、近頃テレビ等見て感じた事を書き連ねてみました。

（別府市 Y・Sさん）

請願署名 大変遅くなりしました。同封します。去る一〇月一七日（朝日）の記事、「軍国主義者と呼べば」は皮肉と嘯いた安倍はやはりA級戦犯者の孫です。戦争を知らない世代の「戦争ごっこ」「刃物遊び」は底知れぬ怖さを秘めています。誰かがすぐにストップをかけねば、と思います。もう一つ、すぐに忘れる日本人、覚める（褪める）ということ「秘密保護法案」が強行採決され、成立したとたん、新聞紙上より記事が激減、マスコミもとりあげなくなりました。もう傍観者です。残念ですね。もう犬の遠吠えですが、いいたいこといっぱい。

（国東市 Y・Kさん）



## 本の紹介

### 『戦後はまだ・・・』 刻まれた加害と被害の記憶

山本宗補写真集 彩流社 4,700円

戦争体験者の証言が現在の日本社会をも告発する。赤とんぼ会員の益永スミコさんの写真記事が掲載されています。「女は男を送りだし殺し尽くさせ、餓死させた……人を殺してしまっただけで生き直すことはできません。もうそんな世の中にしない事が私らの生きる道です。」

益永さんが寄贈して下さった本が事務局にあります。ご連絡ください。貸し出します。

集団的自衛権行使反対署名50筆分を送ります。先の国会での「不特定秘密隠匿法」の「成立」など、安倍政権の暴走は私たち国民を戦前の状態に引き戻そうとしています。しかし、これは明らかに国民の願いにそむくものです。日本、そしてアジア・世界の平和と民主主義のために自分のできることをやっていきたいと思っています。

（別府市 Y・Uさん）

### 2013年度 赤とんぼ意見広告 会計報告

(2013年9月末まで)

収入	3,255,875円		
意見広告募集金額	3,255,875	2,877人	
受取利子	58		
支出	2,731,460円		
広告料	2,628,500	大分合同、朝日、毎日、西日本新聞	
印刷費	67,285	チラシ、封筒、インク代	
会議費	18,540	デザイン会議、校正送付、各種団体まわりの交通費	
通信費	2,740	県外賛同者への掲載紙送付	
事務費	2,395	印紙、振込票印刷、封筒代等	
家賃	12,000	みんなの家家賃 6月～9月	
合計	2,731,460		
収入	3,255,875	支出	2,731,460
		残高	524,415円
			⇒ 会費会計へ

### 2013年度 赤とんぼ会費 会計報告

(2013年9月末まで)

収入			
前年度繰り越し	266,604		
会費	100,000	88名	
2012年意見広告費より預金利子	242,699		
	84		
合計	609,387		
支出			
印刷費	66,235	会報200号、201号、202号	
通信費	65,870	会報送付他	
通家事務費	24,000	2012年4月～2013年5月	
意見広告費	3,150	インク、封筒代等	
会場費	10,000	市民意見広告運動他	
	1,100	2012年総会	
合計	170,355		
収入	609,387	支出	170,355
		次年度繰越	439,032円



# ハハパレと歩こう♪

ハハパレ副リーダー 安岡 カズミ

ハハパレード月イチ実行委員会（ハハパレ）の構成メンバーは、乳幼児から成人までの子を持つ8人の母親たち。デモや反対運動なんて全く無縁に生きて来た私たちが、なぜ毎月街なかをパレードするようになったのか？そして、これから何をしようとしているのか？簡単にまとめてお知らせします。

2年前、大分県知事が東日本大震災で発生したがれきを受け入れると発表しました。そこで、がれきの焼却に疑問を持った人たちが集まって勉強会を開き、専門家の講演などを聴くうちに、問題はがれきではなく、原発とその周辺に渦巻く巨大な闇にあるのだということがわかってきました。大分のがれき受入は白紙撤回されましたが、私たちは、根本原因である原発について学び始めたのです。

その時まで、この地震大国日本に54基もの原発があることすら知らなかった私たちですが、勉強していくうち、核と人類は決して共存できないこと、福島は依然終息していないこと、マスコミは真実を報道しないこと、国は“いのち”よりも“経済”を優先させることを知りました。そしてある女性の話が私たちの運命を変えました。

チェルノブイリ事故から8年後のベラルーシを訪ねた彼女（秋月）が見たものは、爆発的に増加する甲状腺がん患者、次々に病に倒れる人々と病の恐怖におびえる人々、免疫力が衰え授業を受けることすらままならない子どもたちの姿でした。これはまさしく、これから日本が迎えることになる運命だと直感した私たちは、とにかく原発はもういらぬ、と声を上げることにしたのです。こうして、秋月リーダーのもと、ハハパレは誕生しました。

第1回のパレードは2012年7月16日。毎月1回、休むことなく続けてきました。パレードだけでなく、田中優氏の講演会を開催したり、北九州市議会まで出向いてがれき焼却を中止するよう陳情したりもしました。またハハパレカフェを平日昼間にオープンし、被ばくや食の汚染など、なかなか人に話せない不安や疑問を、思う存分語り合える場を提供しています。パレードに参加して声を上げることには抵抗があるけれど、原発には反対！という人は実はとても多いのです。

この九州には、玄海・川内、合わせて6基の原発があります。私たちは、パレードのたびに、メンバーが持ち回りで九電への要請文を書いて皆の前で読み上げ、九電大分支部に提出することにしています。しかしいつも一方通行で返事はなし。そこで、最も身近な九電大分支部の社員の方たちとの直接対話を要望したところ快く応じてくれました。第1回対話の会は2013年秋。その時は、九電の自然エネルギーへの取り組みなどについて説明を受け、こちらが質問するという形でした。終始和やかな雰囲気、互いの立場を理解し、考えを交換しました。そして今年2月に予定されている第2回対話の会では、あらかじめ渡しておいたハハパレからの質問状に基づいて会を進めてもらうことにしています。対立するのではなく、共に未来について語り合い、実現するための方法を考えていきたいと思っています。

原発事故で、豊かな美しいふるさとが汚され、もう帰れなくなってしまった人々の苦しみは、想像を絶するものです。私たちは決して福島を忘れてはならないし、その苦しみを無駄にしてはならないと思うのです。絶対の安全なんてありえない。有り余るほどの電気や24時間営業のスーパーなんていらぬ。私たちはただ、子どもたちがのびのびと成長できる世界を遺したいのです。もう一度原発が爆発すれば、この国は壊滅するということ

を私たちは知っています。だから、どんなに微力でも、声を上げ続けるのです。（終）

## ハハパレ今後の予定

- 2月23日（日）  
13:30～  
大分市大手公園出発
- 3月は“いのちのわ”  
に参加します。

## 3月8日(土) — 3.11に向けた催し — 3月9日(日)

### 講演会 ハア？ 再稼働？

講師／今中哲二さん（京都大学）

時間／18:30～21:00

場所／ホルトホール大分3F  
大会議室

問合／070-5533-9364(奥田)

入場無料（託児有）

### 3.11いのちのわ

(大分市若草公園)にじいろマルシェ  
(市場)

10:00 ライブ&トーク  
} (太鼓・歌・レゲエ他)

14:00 ゲスト  
} 今中哲二さんのお話

15:00 脱原発大行進 **入場無料**

主催／3.11いのちのわ実行委員会 <http://oita311.blogspot.jp/>



お読みになりませんか？

古庄 ゆき子

『憲法と、生きる』  
東京新聞社会部編・岩波書店刊

この本は東京新聞社会部が2013年4月から9月にかけて、「憲法と」のタイトルで6部にわたって連載した記事を下敷きに、取材記者がさらに加筆・収録したものだそうです。

第1章・1950年代の攻防、第2章・救われた人生、第3章・沖繩の怒り、第5章・不戦のとりで、第6章・福島の希望、それに読みごたえのある「はじめに」と「おわりに」がついています。

この本の特徴、そして魅力は日本国憲法は、誕生とほぼ同時にそれを変えようといううねりにさらされてきた。それでも私たちの社会が60余年、変えないという選択をしてきたのはなぜか。(第1章「はしがき」)  
を問う視点に立つて書かれていることにあると私は思います。また、役の社会部デスクが

9条で「戦争放棄」をうたいながら、自衛隊を持ち、それを海外まで派遣しているのは、解釈で「戦争」の意味するところを狭めているからだ。命にかかわる大事なことを国民に問うことなく、曖昧なやり方で決める。そこには民主主義はない。

と怒りを込めて書いているのにも深く共感します。「沖繩では憲法より日米安保条約が幅をきかす」の目見のがしていません。

しかしその上でなお感動するのは、それでも（前にあげたものもろもろ一筆者注）ぬかるみの中で足を踏ん張るようにして、憲法を尊重する人々がいる。

として、さまざまな人々の活動をとおりあげ、その人々の活動によって、例えば抽象的権利と考えられてきた「平和的生存権」から「航空自衛隊のイラクでの活動は違憲」とする判決が導き出されたことを知らせていることです。ぬかるみの中で足を踏ん張っている「赤とんぼ」のわたしたちにも力と勇気をくれます。

5月3日  
憲法講演会

講師 半田 滋氏  
(東京新聞)

テーマ 『集団的自衛権のトリックと安倍改憲』

とき 5月3日(土)  
10:00~12:00

ところ 大分県教育会館  
(大分市下都庁長谷)

主催 平和憲法を守る会  
大分

連絡 097-534-3436  
(共同法律事務所)

名もなき  
ひとむれ  
クラブ飲み

5月3日(土)  
13:30~  
大分トキハ前

講演会

「なんじゃあ!  
この憲法改悪案」

講師/青野 篤さん  
(大分大学)

日時/2月11日(火)  
13:30~

場所/コンパルホール  
302会議室

入場カンパ/500円

主催/天皇問題を考える  
市民ネットワーク

「秘密保護法」

講師/西山 太吉さん  
(元毎日新聞記者)

日時/3月16日(日)  
14:00~

場所/コンパルホール  
視聴覚室

入場カンパ/1,000円

主催/市民連絡会  
おおいた  
連絡/090-4583-8797  
(池田)

映画 いのちのわイベント

「福島六カ所  
未来への伝言」

島田 恵 監督

日時/2月28日(金)  
14:00~

場所/iichiko総合文化  
センター 地下1F  
映像小ホール

料金/1,000円

問合せ/090-9707-1537  
(井藤)

声に出して読んでみましょう 憲法九条

「戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権否認」

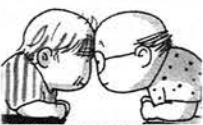
①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段として、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 〒八七〇〇八五五 大分市豊鏡四組 みんなの家

TEL/FAX/097(544)8892(郵便振込)015401012160  
(ホームページ)http://aka-tombo.com/メール)aka-tombo@hotmail.co.jp

映画 「ペコロスの母に会いに行く」  
原作者・岡野 雄一さん 講演会&ミニライブ



◆編集後記◆

- ・毎日腹をたてています ㊦
- ・愛犬が虹の橋に行きました ㊧

日時/2月14日(金) 13:00~15:00 上映会  
15:10~15:40 岡野雄一  
講演会&ミニライブ

場所/ホルトホール大分 1F 小ホール

料金/大人1,300円(前売り)  
大人1,500円(当日)  
高校生以下500円  
障害者手帳等提示の方1,000円  
連絡/097-544-8892(後藤)

ペコロス  
meets  
のんちゃん

同時開催

11:00~17:00  
小間希美作品展  
&  
岡野雄一漫画展  
(小ホール前広場)